

数学

同志社大学 全学部日程 [文系] (2 / 5 実施)

<全体分析>

試験時間	75 分	解答問題数	3 題
------	------	-------	-----

解答形式

空所補充問題 1 題・記述式 2 題の構成

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

空所補充問題では、基本の考え方や定理・公式の適切な運用を問う問題が多い。

昨年より小問が 1 問減った。

記述式の問題では、論証や過程の説明を要する問題が多い。

その他トピックス

特になし

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[I] (1)	三角関数	数学 II	三角関数の合成を用いて、恒等式となる定数を求める。	やや易
[I] (2)	数列	数学 B	等差数列の和、部分分数分解を用いる和、偶奇に分けて考える和を求める。	標準
[I] (3)	整数	数学 A	不定方程式の整数解を求める。また、自然数解の和の最大値を求める。	標準
[II]	微分法	数学 II	3 次方程式が異なる 3 つの実数解を持つ条件や最大解のとりうる値の範囲を求める。	標準
[III]	三角比 ベクトル	数学 I 数学 B	三角形成立条件から a の値の範囲を求める。 三角形の外心の位置をベクトルで表す。また、外心が三角形の内部にある a の値の範囲を求める。	標準

※難易度は 5 段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

教科書の章末問題と同等な問題が多く出題されている。したがって、定義や用語、公式や定理を正確に把握し、適切に運用する練習を徹底したい。単なるパターン学習や暗記学習では対応できない問題も出題されているので、普段から教科書や問題集を解くときに、解き方だけでなく、そこで登場する公式や定理、数学的な考え方がどのように機能して (うまく使われて) いるかを意識して、学習して欲しい。